

ピックアップ★

苦手を克服し、自立へ

～「通級による指導」をご利用ください～

「通級による指導」の利用状況

小・中学校、高校での「通級による指導」のニーズは年々高まっていて、利用も増えていますが、小学校から中学校への進学に伴い、大きく利用が減ります。

群馬県における「通級による指導」の利用人数【令和元年5月1日時点（暫定値）】



小学校
3,183名

中学校
287名

高校
20名

※「通級による指導」は、公立小・中学校、県立高校に在籍する児童・生徒が利用できます。

「通級による指導」の利用の目安

通常の学級での学習におおむね参加できて、一部特別な指導を必要とする程度です。本人・保護者の希望や障害の状況などを考慮しながら、必要な支援を検討していきます。

「通級による指導」とは、通常の学級に在籍する軽度の障害がある児童・生徒に対して、各教科の授業を通常の学級で行いつつ、障害に応じた特別な指導を「通級指導教室」という場で行う特別支援教育の一つの形態です。

平成30年4月からは、高校での「通級による指導」も始まりました。

中学校、高校への進学後もぜひご利用ください

「通級による指導」は、中学校、高校に上がるにつれて、自立や社会参加をより意識した支援を行っています。

中学生の指導の様子(例)



さまざまな情報を基に、伏せてある相手のカードの数字を当てるゲームを行い、集中力や思考力などを養います。

また、人と関わることの楽しさを味わえたり、自分の良さを見つけられたりもします。

利用するにはどうすればいいの？

- 小・中学校
在籍する小・中学校または市町村教育委員会へご相談ください。
- 高校
在籍・進学する高校へ相談やお申し込みをしてください。

●問い合わせ：特別支援教育課 027-226-4656

文化財ライブラリー

Vol. 13

沼と共に生き、沼が生んだ文化

日本遺産

里沼 (SATO-NUMA)

—「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた沼辺文化—

場 所：館林市
認定日：令和元年5月20日

日本遺産とは、地域の特色を表すいくつかの文化財を1つのストーリーでパッケージ化してPRしていく事業です。館林市は、地域の魅力を物語る38の文化財で「里沼」というストーリーを構成し、日本遺産に認定されました。



多々良沼

館林市には、茂林寺沼、多々良沼、城沼など大小の沼が存在し、沼のほとりに人の手が加わる中で、独自の文化が育まれてきました。

茂林寺沼には、信仰の拠点である茂林寺があり、「祈りの沼」として自然を畏怖する気持ちを高め、沼辺の原風景が今なお残っています。

多々良沼からの用水により、館林市は麦の産地となり、多々良沼は「実りの沼」として、館林の食文化を支えてきました。

城沼は「守りの沼」として、館林城の外堀の役目を果たしてきました。南岸には「つつじが岡公園」があり、行楽地として多くの人が訪れています。

「里沼」って何？

沼は、古くは水辺の草木に囲まれて、人を寄せ付けない神聖な場でした。いつしか、人々が沼に近づき集う中で、沼が暮らしと結び付き、沼と共生した文化が生まれました。里山のような暮らしの場が、沼辺にもあり、これを「里沼」と言います。館林市内のさまざまな文化財から、里沼の文化を感じることができます。



城沼 沼辺は大名庭園として整備された「花山」と呼ばれるつつじの名勝地



館林うどん「実りの沼」の恩恵を受けて誕生した名産品の館林うどん

●問い合わせ：文化財保護課 027-897-2925